

energy, widespread adoption of low-carbon solutions, and enhanced environmental responsibility are fundamental steps toward tackling climate challenges and achieving regional decarbonization.

Conclusions

Central Asia faces significant climate challenges, but its

nations are undertaking some proactive steps to address them. Through regional cooperation, investment in renewables, and innovative low-carbon technologies, the region is positioning itself for a sustainable future. Achieving carbon neutrality will require continued collaboration, both within the region and with international partners, to ensure long-term environmental and economic resilience.

中央アジアにおける脱炭素化の展望： 排出動向、可能性、障壁、協力の機会

持続可能な開発と国際問題研究所 (IDDR), フランス ジョージ・サフォノフ

持続可能なインフラプロジェクト in Asia (SIPA/OECD), カザフスタン ミハイル・サフォノフ

要 旨

中央アジアは、深刻な気候変動の影響に直面しながら、複雑な社会経済的および環境的課題の解決を迫られている。この地域の人口増加とGDP成長は生活の質を向上させてきたが、一方で炭素排出量の増加や環境・公害問題の深刻化も招いている。石炭、ガス、石油などの豊富な化石燃料資源に依存してきた歴史を持つ中央アジアは、今、化石燃料への依存を続けるのか、それともグリーン経済モデルと脱炭素化へ移行するのかという重要な岐路に立たされている。化石燃料の使用を抑制しなければ、同地域の排出量は累計1,000億トン以上のCO₂換算に達し、地球規模の気候変動対策を損なうリスクがある。

持続可能な未来を切り開くためには、中央アジアは地域協力を優先し、再生可能エネルギーへの投資、革新的な低炭素技術や自然を活用した解決策を積極的に導入する必要がある。カーボンニュートラル性の達成には、中央アジア諸国間の継続的な協力だけでなく、国際的な関係者との強固なパートナーシップも不可欠である。これらの取り組みは、同地域の長期的な環境の持続可能性と経済的回復力を確保し、次世代に向けたより環境に優しく、繁栄した未来を築くために不可欠である。

キーワード：中央アジア、気候変動、温室効果ガス、脱炭素化、持続可能性、カーボンニュートラル性、地域協力